

出前授業「防災さんぽマップ作製」授業例

まちに出て、地震がおきたとき危険なところはないか調べに行こう

実施校：五月丘小学校 6年生2組 1クラス

授業実施日：2021年6月3日（水曜日）2時間目、3時間目 9：40～11：30 場所：6年2組教室

サポート：地域の皆様（3名）、池田市危機管理課、池田市環境政策課、NPO 法人いけだエコスタッフ

単元：小学6年生 総合的な学習の時間

目標：防災さんぽで発見した身近にある防災に関する様々な施設や設備・危険な所などを地図上に集約します。

ねらい：①災害時の危険についてグループ内での情報の共有を図り、学校の周りや通学路の様子など身近な環境に関心を深める。

②地域の方や行政の方と交流し、防災側面での地域の特色を考える。

③成果物（マップ）を通じて他者に伝える工夫を考える。

授業概要：2時間目、3時間目 9：40～11：40

時間	流れ	内容
9：40 ～ 9：55	はじめに (先生)	今日することの確認 ・個人単位で調査したデータ（箇所、写真など）を整理する。 ・グループ単位でタブレットの地図にデータを貼り付けグループの防災マップを作成する。 ・調査したデータ（箇所、写真など）でわからない所や必要な地域情報をサポーターに質問相談する。
9：55 ～ 11：30	防災マップ作製	・グループ単位で防災マップの作製 必要に応じてサポーターに質問相談。 良く出た質問 消火設備、災害対応型自動販売機、地域の防災組織、コミュニティの倉庫、危険な個所の対策を相談する窓口など

【授業のようす】





【意識する SDG s ゴール】

